

GE-1-i-07	A 共生社会と人間	第1学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	秦 澄美枝			
一般目標 (GIO)	“人間として” 異性・異民族から広く地球全体の自然と共に生きる理念を大系化する。			
到達目標 (SBOs)	国際社会に生きる地球人として、いかなる人間とも地球の自然とも共生できる理念を確立する。			
受講心得・ 準備学習等	異性や他民族への偏見を持たず、地球全体の中でのひとつの生命体である自己を確認しておく。			
事後学習・ 復習等	講義やテキストをもとに自己を客観化し、自分の在り方を考える。			
オフィスアワー	講義の前後に質問を受け付ける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式
回	項目	内容
1	概論	〈共生〉の概念から14回授業全体の説明
2	〈個〉の〈人間として〉	〈人間として〉ある〈個〉の意識を覚醒
3	〈共生〉の概念	〈個〉が他者と〈共生〉する意義
4	異性との共生	特に〈個〉が〈異性〉と共生する意味
5	異民族との共生	〈異民族〉同志での共生の重要性
6	自然との共生	〈人間〉と〈自然〉との在り方
7	地球全体との共生	〈地球全体〉の中で生きる〈個〉の在り方
8	学生が考える〈個〉と共生	学生一人一人の考える〈共生〉をプレゼンテーション
9	〃	〃
10	〃	〃
11	〃	〃
12	〈共生社会〉への弊害	〈国際社会〉の全体に弊害となるものとは
13	〈共生社会〉へ求められるもの	弊害をとり除いて未来へ求められる理念
14	〈共生社会と人間〉をまとめる	半期間の授業の成果を考える

成績評価 の方法	半期間の2回的小レポートにより評価
成績評価 の基準	半期間の2回的小レポートが75%以上で合格とし、時に応じて発表についての評価も成績に加算。
教科書	受講人数と、受講生たちの受講理由を受けて、適宜、担当教員の著書の中から選ぶ。
参考書など	